

## 平成20年度第4回技術委員会会議における質問等のまとめ

| 番号 | 区分        | 委員名 | 発言要旨   | 事業者の説明要旨   |
|----|-----------|-----|--|--|
| 1  | 1<br>事業計画 | 片谷  | <p>① 施設の詳細な設計が出来上がるのと環境影響評価との時間的な前後関係はどのようになっているのか。</p> <p>② 例えば煙突の高さ、位置等の詳細は、最終的な予測評価に影響するが、それが行われるより前に決定する、という理解でよいか。</p>                              | <p>① 細かな設計は、まだ決まっていない。現地調査の実施と並行して施設の整備計画を作成していく計画である。</p> <p>② そのとおり。</p>   |
| 2  | 1<br>事業計画 | 阿部  | <p>熱源に、例えば重油を使うこととして、将来的に入手が困難になったり非常に高騰したりした場合に、焼却炉の構造などを急に変えなければいけない心配があると思うが、どのような対応を考えているのか。</p>   | <p>焼却してしまうと連続運転になるので燃料は使わない。最初に火をつける時に何を使うかについては、まだ決まっていない。</p>  |
| 3  | 1<br>事業計画 | 花里  | <p>① 現清掃センターは老朽化が進んでいるということだが、老朽化はどこがどう問題で、例えば補修することで賄えないのか。</p> <p>② 焼却施設というのは二十数年くらいが耐用年数か。</p> <p>③ 新しいものを作っても二十数年後には、また何か対策を考えなければいけない、と理解してよいか。</p> | <p>① 現清掃センターは改修工事をしてきているので現在では支障なく稼働しているが、26年経っており、耐用年数が来ている。また、より安全な施設にしたいということからも、更新したい。</p> <p>② 26年というのはかなり長い期間稼働し続けていることになる。本来、もう少し短いスパンで考えた方がいいと考える。</p> <p>③ 当然、新しい施設を作っても、期間的にはある程度過ぎたところで、また更新しなければならないものだと考える。</p> |
| 4  | 1<br>事業計画 | 小澤  | <p>ごみの減量の努力によって縮小した上で本事業の規模が達成される計画になっているが、ごみの減量計画についての具体的な取組はあるのか。</p>  | <p>(亀山委員長：できるだけ減量の努力をしつつそういう施設を作るという基本的な考えであるから、そうしていただくと理解いただければと思う。)</p>   |

| 番号 | 区分                           | 委員名 | 発言要旨  | 事業者の説明要旨  |
|----|------------------------------|-----|---|---|
| 5  | 2. 3<br>自然的<br>状況            | 富樫  | <p>① 敷地内のどこに実際の施設ができるかは、まだわからないということでもよいか。</p> <p>② どのくらいの深さまで掘削するかは、大体決まっているのか。</p> <p>③ P92の地質図によると、事業実施区域に近接して泥がちの堆積物があるので、深く掘削するような場合に大量に水をくみ上げないといけないことになると、地盤沈下等の影響の心配を感じるが、検討されているか。</p> <p>④ 地下水位が4mということであれば、10m掘削すると地下水以下かなり掘り込む必要が生じるので、地質の性状によっては非常に大量の水が湧き出てくることにもなる。項目として地盤沈下を、今の時点で全く省いてしまっているのかが疑問。</p> | <p>① 施設の整備計画はアセスの進捗状況に合わせて決めていく。</p> <p>② 現状、どのくらい掘削するかは決まっていない。</p> <p>③ 現清掃センターも大体同じような規模であり、大体10m程度の掘削になっている。新しい施設もそういう構造になっているのだろうと考えているが、その辺も含めて周辺への影響に配慮していきたい。</p> <p>④ (亀山委員長：御指摘のように項目として省いていいかどうかについては、次回、もう少し突っ込んで議論いただきたい。)</p> |
| 6  | 2. 3<br>自然的<br>状況            | 花里  | <p>P153に公害苦情の現状が記載されており、P200にトリクロロエチレンの調査結果で基準値を超えている所が記載されているが、これらについて、現清掃センターが関わっているものがあるのか。</p>  | <p>ありません。</p>   |
| 7  | 3. 2<br>調査、予<br>測及び評<br>価の手法 | 片谷  | <p>(方法書P233について)</p> <p>① 気象の観測の調査地点はサンマリーンの北側と考えているが、ここに10mのポールを立てるという計画か。</p> <p>② 流跡線を求める計画になっているが、具体的にどのくらいのエリアでどういうデータを使って求める計画なのか。</p> <p>③ 計算ではなく、バルーンを飛ばして調査するのか。</p>   | <p>① 地上気象観測は10mのポールを立てた調査を考えている。</p> <p>② テトラバックを放球して、望遠鏡で追うという調査を予定している。</p> <p>③ そのとおり、現地調査する。</p>  |
| 8  | 3. 2<br>調査、予<br>測及び評<br>価の手法 | 中村  | <p>P273の動物の予測で、焼却施設の稼働による影響として、注目すべき種及び個体群が選定されているが、特別、ターゲットを挙げているか。</p>  | <p>文献調査では注目すべき種は周辺にはないだろうと予想しており、現在のところ特定の種をターゲットとしては考えていない。</p>  |
| 9  | —                            | 片谷  | <p>現清掃センターのNO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>等の測定データをまとめた資料があれば、次回示していただきたいが。</p>  | <p>次回、お示しします。<br/>(別添「資料1の9番関連」参照)</p>  |